

伴野豊の絆レポート NO.36



伴野豊の活動報告

みなさん！こんにちは、伴野豊です。

爽やかな秋晴れの続く九月も残すところあと一週間、いかがお過ごしでしょうか。

さて、国会ですが、ようやく今月末の29日から臨時国会が開会されるようです。六月の末から三ヶ月を越える夏休み。近年には無いことだと思います。国民の皆様方が寸暇を惜しんで額に汗して働いているのに三ヶ月の夏休み。これが今の国政の現状です。全てを物語っております。国会を三ヶ月も開くことのできないくらい与党と野党の数の差があるという事です。

本来民主主義というもの、議院を開会することにより、反対の意見や小さな意見をしっかりと汲み上げることによって機能します。そうでなければ、独裁政治、官僚政治になってしまいます。国民の皆様方に十分な情報開示が行われることなく、重要なことが十分な議論を経ずしてあつという間に決まって行ってしまう。過去、こうした時に何が決まって来たか、歴史を紐解くとよく分かりますが、とても危険です。与野党の数が余りにも差がある現在の政治環境は、結果的に国民の皆様方に申し訳ないことになりがちです。選挙で作られた政治環境を変えるには選挙しか方法はありません。生活者、納税者、消費者、額に汗して真面目に働く人々の代弁者として、しっかりと戦って参ります。今後ともご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

伴野豊の気になる国土交通政策



国土交通行政に関連する最近の動きについて気になるものをピックアップして見ました。

○交通政策基本計画（原案）に対する意見の募集の開始（9月5日）

交通に関する施策についての基本的な方針及び目標や政府が講ずべき施策等について記載する「交通政策基本計画」の原案について、9月5日より意見募集を開始しています。

○若手技術者の育成する建設業者を入札で有利に（9月10日）

9月10日に開催された中央建設業審議会総会で、若手技術者の育成を促すため、若手の比率が高い会社に対して経営事項審査（経審）で加点するように算定方法を見直す改正案が公表されました。具体的には、34歳以下の技術者を対象とする内容です。

このほか、災害時の復旧作業に不可欠な建設機械については、対象機種を拡大します。従来のショベル系掘削機、トラクターショベル、ブルドーザーの3機種のほか、移動式クレーン、大型ダンプ車、モーターグレーダーの3機種を新たに評価対象に加えます。国交省では、これから詳細を検討していき、早ければ平成27年度の経審から適用します。

○地方公共団体管理の老朽橋梁に「道路メンテナンス技術集団」を派遣（9月17日）

国土交通省では、地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い橋梁について直轄診断を試行的に実施することとしました。

今年度は、福島県三島町の三島大橋、群馬県嬭恋村の大前橋、高知県仁淀川町の大渡ダム大橋の三か所の橋梁について実施します。

伴野豊の気になる本

今回の伴野豊の気になる本は、NHK「プロフェッショナル」制作班の「プロフェッショナル 仕事の流儀・人生に迷わない36の極意」です。様々な分野で活躍するプロ中のプロ、一流のプロの「仕事」を掘り下げるドキュメンタリー番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」の制作チームが、その取材を通してそれぞれのプロフェッショナルの言葉から得た「人生に迷わない」ためのヒントがここに詰まっています。

今では一流の人でも当たり前ですが、皆最初から一流であったわけではなく、何度も挫折を経験したり、進むべき道に迷いながら歩いて来たことがよく分かります。もがき苦しみながら、何を大切にして行動し、どうやって一歩前に進むことができたのか。一流の人の一流たるゆえんがそこにあります。NHK 出版新書(定価：本体820円＋税別)

ば

ばんの豊フェイスブックページ

検索 🔍

伴野豊事務所 半田市青山2-19-8

TEL : 0569-25-1888

FAX : 0569-25-1881

HP : bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区：半田市・常滑市・東海市・知多市・

阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町

